

担うリーダーとして成長してほしい」と研修生への期待を述べた。

同農園は広島県東蓮とJA、同園芸組合が、産

地の次代の担い手を育てようと15年11月に開園。研修生は町のブドウ団地内の実習園地を中心に、土づくりに栽培管理、

出荷、流通まで一貫した研修を受ける。これまでに累計で10人が受講し、17年12月には1期生4人が就農した。

ねま地区 JA 斐川

ドローンシテモ飛行研修

葉色解析広域も楽々

【鳥根・斐川】JAしまね斐川地区本部は4月上旬、出雲市斐川町の農事組合法人上直江ファームの農地で、ドローン（小型無人飛行機）のデモフライト研修会を行った。同町では農業の大規模化が進む中、新技術を活用した効率化を目指しており、ドローンを運動

させた葉色解析サービスとを目標。㈱スカイマテイクスから、同社が開発、運営する葉色解析サービス「いろは」の説明を受けた。ドローンで農

地を撮影し、クラウド経由で葉色診断ができる。同社の渡邊善太郎（最高執行責任者）は「ドローンはまだまだ未知なるものと思っている方が多い。操作は非常に簡単なもので、身近に感じてほしい」と呼び掛けた。

使用したドローン「X-S1」は自律飛行ができ、離着陸、撮影も自動。研修会の参加者は、ボタン操作一つで自律飛行に興味を示していた。



出荷に向け色づき具合を確認する大場さん（左）とJAしまね担当者

用途多彩

丘あいの広場」が27日リニューアルオープンに際し、6次産業化を推進している。

出荷もうすぐ

を食べていただくことが、生産者の励みになる」と気づいた。確認した。

（鳥根・西いわみ）

JAしまね出雲ぶどう部会は9日、出雲市の同JA出雲地区本部荒木支店で、2018年産の超早期加温ブドウの出荷打ち合わせ会を開いた。管内産の「テラウエア」の初出荷は18日で、6月上・中旬に最盛期を迎える見込みだ。

部会員、関係者ら約30人が出席。18年産の情勢や県外産の出荷状況の報告があ

り、出荷間近の園地を視察して生育状況や出荷規格を確認した。

同地区本部総合指導課の山本孝司営農技監は「今後もかん水、病害虫防除など栽培管理の徹底が重要だ」と呼び掛けた。

園山農部会長は「今年は税抜きキロ単価1300円を達成しなければならぬ。部会として高品質なブドウを出荷するとともに、精度の高い情報を市場に提供していく」と意気込みを語った。

（鳥根・出雲）

JAしまねは、9日未明に発生した県西部を震源とする地震で被災した農業者らの復興支援のため、災害対策農業資金を設けた。貯金などの払い出しでは、今回の災害で通帳・証書・印鑑などを紛失した場合、本人確認で支払いに応じる。

JAしまね

県によると、11日時点で大田市を中心に民家など607棟が損壊などの被害に遭った。農業関係の被害は調査中だが、同市で鶏舎の設備が一部破損した他、飯南町ではカ

地震被害 再建を支援

ントリーエレベーターで昇降機が破損した。災害対策農業資金の概要は次の通り。

▽取扱期間 2018年4月10日～19年3月29日▽貸付対象 被災した農業者、農業者が組織する法人・団体など▽資金使途 農業経営再建に必要な運転資金、施設・設備修復資金▽貸付金額 300万円以内▽貸付期間 20年以内（うち据え置き期間2年以内）。運転資金は10年以内（同2年以内）▽貸付利率 0.15%▽保証料 JAしまねが全額助成（鳥根）

良質ミカン生産へ34人が営農塾修了

JA山口大島

【山口大島】周防大島みかんいいき営農塾は3月上旬、閉講式を開き、受講者34人が1年間の研修を修了した。かんきつ専門の営農塾で16回目の閉講式。延べ500人以上が修了した。近年は若手就農希望者も増

新しいアイアンセットが新登場!! シニア・中高年におすすめ!

